

陽春の午後 松下幹生

春の陽そそぐ 昼下がり  
暖かい リビングソファー  
紅茶を飲んで 寛いで  
ぼんやりビデオ 見ていたら  
いつかウトウト…  
その心地よさ  
身体がフワリ 浮き上がるよな  
天にも昇る 至福の時間

誰にも邪魔を されないで  
天国に 昇ったように  
何事にさえ 代えがたい  
猫のミーヤも 横になり  
日向ぼっこで…  
気持ち良さげに  
顔を擦って 伸び一つして  
日差しが撫でる 陽春の午後

いつしか浅く 眠り付き  
気だるげに 時間を止めて  
いずれ現(うつつ)か 幻か  
雲の綿毛に 包まれて  
ソファーの上から…  
宙に浮かんで  
貪(むさぼ)る惰眠 孤高の時に  
ミーヤが飛び付き 夢から覚める